

資料5

第81回国際獣疫事務局(OIE)総会

平成25年7月
農林水産省消費・安全局

第81回OIE総会開催日程、場所、出席者

日程：平成25年5月26日(日)～31日(金)

場所：フランス・パリ

出席者：

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課
長(首席獣医官)、畜水産安全管理課
水産安全室長ほか

スケジュール					
26日(日)	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)
(10:00-15:00) 登録	(9:00-10:30) アジェンダ採択 昨年の活動報告 及び来年の作業 計画	(9:00-10:30) 国際機関による プレゼン	(9:00-12:30) コード委員会 ※コード改正案の 採決	(9:00-11:30) ・世界の動物疾 病の発生状況 ・中国におけるイ ンフルエンザ A(H7N9)の状況	(9:00-11:00) 行政会合 ・監査報告、 予算
	(11:00-12:30) 技術議題:水生・ 陸生動物疾病の 防疫及び撲滅の ための新技術へ の最新アプロー チとその利用	(11:00-11:45) 技術課題:馬術イ ベントの世界的拡 大による利点及 び課題			(11:30-13:00) (技術的)決議案 の採決
(11:45-13:15) 水生動物委員会 ※コード・マニュアル 改正案の採決		(13:00-14:30) 記者会見			
15:00-19:00 開会式・授賞 式など	(14:00-18:30) 各地域委員会	(14:45-18:00) 科学委員会 ※公式疾病ステータ ス認定案の採決	(14:30-16:15) コード委員会 ※コード改正案の 採決	(14:30-18:00) ・決議案の採決 ・地域委員会報 告 ・次回総会予定 ・公式疾病 ステータス認定 書の授与	(15:30-17:30) ・決議書と総会 報告書の配布 と確認 ・閉会式
		(18:00-18:30) 世界会議の勧告 のフォローアップ	(16:45-18:15) ラボラトリー委員 会 ※マニュアル改正 案の採決		

BSE等に係るステータスの認定

1. 牛海綿状脳症(BSE)
日本、米国、イスラエル、イタリア、オランダ及びスロベニアが新たに「無視できるリスクの国」に、ブルガリア及びコスタリカが「管理されたリスクの国」にそれぞれ認定された。
2. 口蹄疫
ペルー及びアルゼンチンの一部地域が「ワクチン非接種清浄地域」に認定された。ペルー及びボリビアの一部地域が「ワクチン接種清浄地域」に認定された。
3. アフリカ馬疫
本疾病のステータス認定は今年からであり、豪州、ニュージーランド、米国等54カ国が清浄国に認定された。
4. OIEがステータスを認定する疾病(BSE、口蹄疫、牛疫、牛肺疫及びアフリカ馬疫)に豚コレラ及び小反芻獣疫が追加された。

ステータス認定書の授与の様子



5

主な陸生動物コードの改正

1. OIEリスト疾病

「水胞性口炎」及び「豚水胞病」をリスト疾病から除外する案が提案されていたが、我が国に加え、中国、中南米各国が反対し、ロシアも反対意見を支持した結果、これら2疾病については「検討中」の扱いとし、次回コード委員会において、リスト疾病の基準に合致する可否か再度検討されることとなった。

6

主な陸生コードの改正

2. アニマルウェルフェア

- 肉用鶏生産に関する新規章については、系統の選択にあたって生産量だけでなく、福祉や健康実態も考慮すべきとの記述について「検討中」を付した上で承認。
- 肉用牛生産に関する章(第7.9章)に繋ぎ飼いの肉牛のスペースの確保に関する規定(横臥できること、屋外繫留の場合、回転及び歩行できること)を追加

7

主な陸生コードの改正

3. 旋毛虫(トリヒナ)感染症

- 豚肉の輸入時の要件として、①トリヒナ感染のないコンパートメントの豚由来であること、②トリヒナの検査陰性の豚由来であること、又は③コーデックスの基準(検討中)に基づいたトリヒナの不活化がなされていること、のいずれかを満たす必要があるとする基準案が承認された。
- 清浄国の要件については、次回のアドホックグループにおいて検討することとされた。

8

主な陸生コードの改正

4. 蜂疾病

各種蜂疾病(アメリカ腐蛆病、ヨーロッパ腐蛆病、アカリンダニ症、ミツバチトゲダニ外寄生及びバロア病)の清浄ステータスの取得条件に、①野生化群がないこと又は②野生化群に当該疾病(又はダニ)がないことを証明する継続的なサーベイランスプログラムがあることを追加した基準案が承認された。

9

OIEリファレンスラボラトリーの指定

馬伝染性貧血のOIEリファレンスラボラトリー(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所)の専門家が、村上賢二氏から山川睦氏に変更された。

10

中国におけるインフルエンザA(H7N9)の状況

中国のOIE代表より情報提供：

- 今般分離されたウイルスは家きんに対し低病原性。
- 生きている家きんから分離されており、食品からは分離されていない。
- 鶏、アヒル及びハトでは検出されたが、豚では検出されていない。
- 感染拡大に野鳥が関与していると考えられる。
- アヒルより鶏の感受性が高いが、科学的根拠は不明。
- 中国の取組みやこれまでの調査結果から、近隣国への拡散リスクは非常に低いと考えられる。

11

第81回OIE総会にて決議された事項

OIE総会で決定された事項は、決議書として採決される。また総会の議論は報告書としてOIEのHPで公表される。

【報告書】

- Report of Technical Session
- Report of Administrative Session

【決議書】

- Resolution of Technical Session
- Resolution of Administrative Session

12

ご清聴ありがとうございました。

(レポート及び決議書が掲載されています)
<http://www.oie.int/about-us/final-reports-of-the-general-session-of-the-oie-international-committee/>